

◇経済地理学会総会および第 64 回大会のお知らせ【第 1 報】◇

2017 年度経済地理学会総会および第 64 回大会は下記の要領で開催されます。大会シンポジウム、フロンティアセッション、ラウンドテーブルの企画および今回から試行的に一般研究発表の報告者を公募いたしますので、ふるってご応募ください。

◆日 程：

2017 年 5 月 26 日（金）常任幹事会

27 日（土）評議会、共通論題シンポジウム、懇親会

28 日（日）フロンティアセッション、一般研究発表、総会、ラウンドテーブル

29 日（月）エクスカージョン

◆会 場：明治大学駿河台キャンパス

◆共通論題シンポジウム

テーマ：世界都市東京論の再考

開催趣旨：

2011 年の都市再生特別措置法改正による特定都市再生緊急整備地域の創設を経て、今日、2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、東京都心部の再開発がいっそう弾みをつけている。容積率緩和に支えられた都心再開発が進行する中で、業務系・商業系の空間利用が増大するばかりでなく、住居系の空間利用も増大し、富裕層が都心ないしその周辺地区に回帰するジェントリフィケーションがさらに進行してきた。また、東京のインナーシティでは小零細企業が集積し、コミュニティと結びついた生産活動が行われてきたが、ここにきて集積の綻びが目立ち始め、行政等によるかなり意識的な産業再生策が講じられるようになっていく。インナーシティの一部では外国人社会が根付き、排外的な動きと共生のための運動がぶつかり合っている。

一方、かつて「戸建ての夢」の実現に向けて拡大していった郊外地域の一部では高齢化と人口減少に直面しつつある。郊外地域の就業機会としては、製造業の大規模事業所が相次いで撤退表明するなかで、圏央道や北関東道の沿道には、物流・貯蔵施設や外食産業等の加工施設が立ち並ぶようになり、大都市圏内帯に対する「バックヤード化」が郊外地域で進んでいるようにも見て取れる。そして、雇用の不安定化を伴った構造変化のなかで、インナーシティから郊外地域を通じて貧困世帯の増加が問題視されるようにもなっている。

政財界では世界都市格付け上の東京の地位に神経を尖らせる向きもあるが、ジョン・フリードマンやサスキア・サッセンが提起した世界都市論ないしグローバル都市論というのは、本来的には批判的概念である。世界都市としての東京の盛衰、もしくは世界都市機能を活性化させようという取り組み、経済社会の新自由主義化の中で、東京やその周辺地域の産業活動や住民

生活がどのような影響を受けているのか、また、いかなる将来像が描かれるべきなのだろうか。

本学会で東京圏を中心とした大都市（圏）を対象とした共通論題シンポジウムとして、「産業構造の新展開と大都市問題」（1986年、明治大学）、「大都市周辺部の構造変化：国際化の進展と産業構造の変化を踏まえて」（1987年、東京学芸大学）、「世界都市論：東京」（1995年、お茶の水女子大学）、「グローバル化時代の大都市：東京（圏）に焦点をあてて」（2008年、早稲田大学）などを開催してきたが、今回の共通論題シンポジウムではこれらのシンポジウムの問題意識を継承しつつ、今日の東京問題を議論してみたい。

#### ◆大会シンポジウム報告申し込み

上記テーマに関して、報告希望者は、氏名・所属・報告のタイトルを明記の上、報告要旨（400字程度）を添えて、下記の問い合わせ先宛に、2016年10月31日（月）までにe-mailにて申し込んでください。ソフト委員会で審議の上、結果をお知らせします。発表者としてお願いする場合には、要旨集に掲載する原稿を改めてお願いすることになります。

#### ◆ラウンドテーブルの企画募集について

ラウンドテーブルの企画を募集します。ラウンドテーブルのテーマ名、オーガナイザー名・所属、話題提供者名・所属を明記の上、ラウンドテーブルの趣旨（400字程度）を添えて、11月30日（水）までに申し込んでください。申し込み先はシンポジウムと同じです。

#### ◆フロンティアセッションの発表者推薦のお願い

フロンティアセッションは、原則として40歳以下の経済地理学会会員が経済地理学に関しなされた顕著な研究成果（博士論文もしくはそれに相当する研究成果等）を広く学会に問う場です。自薦・他薦を問いませんので、発表者をご推薦ください。発表者の氏名・所属、予定される論題、推薦者の氏名・所属を明記の上、推薦理由（800字程度）を添えて、12月31日（土）までに申し込んでください。申し込み先はシンポジウムと同じです。

#### ◆一般研究発表の報告申し込み

今回、一般研究発表を試行的に導入します。発表時間は、報告20分、質疑応答15分を予定しております。希望者は下記の要領で申し込んで下さい。

申込方法：下記申込先（大会実行委員会）へメールで申し込み。

締 切：2017年2月28日（火）

必要情報：①氏名、②所属、③発表タイトル、④連絡先（メールおよび電話番号）、

⑤要旨（1,100字、図表なし、『年報』の例会発表要旨に準じる）

#### ◆問い合わせ先および申し込み先

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1 東京農業大学食料環境経済学科

高柳長直

TEL. 03-5477-2371

e-mail: takayan(at)nodai.ac.jp

お手数ですが (at) は@に置き換えてください。

◆**実行委員会**

実行委員長：松橋公治（明治大学）

ハード部門：藤田直晴（委員長，明治大学），飯嶋曜子（明治大学），大城直樹（明治大学），  
川口太郎（明治大学），中川秀一（明治大学），中澤高志（明治大学），廣松 悟  
（明治大学），

ソフト部門：高柳長直（委員長，東京農業大学），伊藤達也（法政大学），小田宏信（成蹊大  
学），宮地忠幸（国士舘大学）